



## 環境と社会に価値をうみだすバナナペーパーの世界へようこそ！

**真に持続可能な紙をつくることは可能？環境を守るだけでなく、社会および経済的価値もうみだす紙ができるだろうか。**

その問いに答えを出すために、バナナペーパーは生まれました。

世界では今、再生できるスピードを上回り、多くの森林や動物を失い続けています。その問題の一部は、アジアを中心とした持続不可能な製紙産業と私たちの消費のあり方が原因となっています。

一方、アフリカの農村地域における極度の貧困は、違法な森林伐採や、ゾウやライオンなど野生動物の密猟につながっています。貧困は環境破壊の結果ですが、環境破壊も貧困の結果となっています。

このような問題を解決するために始まったのが、バナナペーパーです。バナナの「木（茎）」は再生可能な資源です。わずか1年で成長するバナナの茎は、一度だけ実をつけます。果物の収穫を終えると、バナナ農家はその茎を切り、新しい茎に栄養が届

くようにします。そして、切り取られた茎は廃棄されています。

バナナペーパー事業では、アフリカ農村部の貧困で苦しむバナナ農家から、この廃棄されているバナナの茎を購入することで、農家の収入増を支えています。

また茎は、地元の村の女性と男性によって繊維が取り出され、バナナペーパーの原料となっています。村の人々は、この仕事に就くことで、極度の貧困を克服する機会を得ています。

バナナ繊維は、日本の伝統的な和紙工場や英国の由緒ある紙工場に運ばれ、上質紙 - ワンブラネット・ペーパー®が生まれています。世界フェアトレード機関 (WFTO) 認証の紙です。

私たちの紙はSDGsの17目標すべてを統合し取り組んでいます。



貧困をなくす

バナナペーパーは、現在約1000人以上の貧困層の人々の暮らしを支えています。ザンビアの農村部で、20人を直接雇用しており、150人を超える子供たちが学校に通うことができます。また、バナナペーパーのグリーン工場では近隣の村人へ井戸を解放しているため、何百人もの人々がきれいな水を手に入れることができるようになりました。



野生動物を守る

バナナペーパー工場は、ザンビアのサウスラングワ国立公園の近くにあります。この国立公園は、世界初の持続可能な国立公園に選ばれました (国連 2017)。野生のゾウやキリンが生息する生物多様性のホットスポットです。しかし極度の貧困は密猟につながっています。密猟を事前に防ぐため、貧困層の人々を積極的に採用し、生物多様性の教育を提供。ゾウと人の両方を守るバナナペーパーです。



オーガニック農家を支える

農業に関わる人々の健康と生物多様性の保護の観点から、オーガニック農家を支援しています。私たちのバナナペーパーの原料となる茎は、オーガニックバナナ農家からのみ仕入れられています。通常廃棄されている茎を購入することは、経済的に不利な立場にある小規模農家に付加価値を生み出します。極度の貧困状態にあった45の小規模オーガニックバナナ農家と取引を行なっています。



森林を守る

通常の「紙の原料となる木」が成長までに7 - 15年必要なのに対し、バナナの木はわずか1年で成長します。またバナナは貧困層の人々にとって重要な栄養源でもあります。フェアトレードのバナナペーパーを使用することで、森林、人々、そして絶滅の危機に瀕している動物を同時に守ることができます。

